

医務室だより

医務室が日頃から取り組んでいることを皆さんに少しでも知っていただくという初めての試みで今回、お薬についてお話ししたいと思います。

通院の後、薬局から受けた薬は「どこに」、「どのようにして」保管されているか？気になった方はおられますか？医務室では入所者55名分の薬を個別に分けて整理しています。まず、外から戻った薬の名前、内容に間違いがないか、不足分はないか確認をします。その後、個別にまとめ薬品庫で保管しています。医務室以外で薬を保管することはありません。

～薬の渡し間違いを防ぐために普段からいろいろな工夫をしています～

医務室では飲み間違いを防ぐために、飲む時間に応じて袋の色分けをしています。これは職員が誤って違う薬を渡すことがないように注意を呼び掛けるためです。

また、同姓同名の方に対しては薬局にも協力を得て印字を漢字だけでなく平仮名を用いたり、字を大きくしてデザインに変化をつけています。そうすることで職員の目に止まりやすくなり、事故防止に繋がると考えています。

このようにして医務室では「目で見て確認」し、「名前を声に出して伝える」ことを徹底しており、皆さんに安心して薬を飲んでいただけるよう細かい部分まで十分に配慮し日々、事故防止に努めています。

～医務室から皆様へ～

真和館にはさまざまな病気を抱えた方がたくさん居られ、それぞれ薬の種類、量が違います。薬の時間はみなさんにとって大切な時間です。体の不自由な方はそうでない方に比べると薬を飲むのに時間がかかります。それで、ときには順番通りに対応することができなかつたり、お待たせしたりして不愉快な思いをさせてしまうこともあると思います。実際、皆様からお薬に関するご意見を多数いただいておりますので、できる限り要望にお応えし環境を整えるよう日々努力しています。現在、医務室では薬の時間には十分なゆとりを持った対応を心がけておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



お誕生者の案内

1月	11日 富田さん	3月	1日 桑田さん
	12日 石坂さん		5日 澤田さん
	13日 中村さん	4月	3日 坂崎さん
	14日 佐藤さん		14日 森元さん
	16日 緒方さん		17日 岩永さん
2月	20日 二田さん	5月	1日 大久保さん
	31日 杉本さん		18日 永田さん
	2日 緒方さん	6月	25日 今村さん
	5日 成澤さん		1日 松村さん
	14日 大津さん		4日 花岡さん
	16日 西川さん		22日 佐藤さん
	28日 宮崎さん		26日 桑崎さん

<編集後記>

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの影響で、様々な施設行事が中止及び延期を余儀なくされています。コロナ禍を乗り越えて元の生活に戻るには、今しばらくの時間がかかりそうです。引き続き、「水際対策」に則って、施設にコロナを入れない取り組みをしていきます。皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

<編集責任：田上>

発行：社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館
 〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
 TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
 E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
 HP:http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。

真和館だより 第26号

風の彩り

コロナ対策としての ～全室個室化工事への取り組み～



施設長 藤本和彦

新年、明けましておめでとうございます。救護施設真和館は、平成18年4月にオープンし、以来、アルコール依存症の回復支援に取り組み、今年で15回目の正月を迎えることとなります。これも一重に関係者の皆様の日頃の御指導、御支援の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、熊本地震からの復旧が終わり、一息ついたところに、新型コロナが流行し始め、施設運営に大きな影響を与えるようになりました。

真和館は、施設にコロナを入れないための、「水際対策」に力を入れ、今のところ、入所者・職員ともに無事に過ごせています。

しかし、コロナの世界は、不条理な世界です。努力がそのまま、認められる世界ではありません。いつ、施設にコロナが入るかわかりません。

また、施設の場合は、入所者や職員が一人でもコロナに感染すると、施設内にクラスターが発生することは、目に見えています。しかも、入所者の殆どの方が、高齢で、持病を持った抵抗力が無い方々です。その上に、障がいを持った方々です。一旦、施設に入ってしまうと、先が見通せない状態となります。

そこに、「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策 ー第2弾ー」として保護施設等の多床室の個室化に要する改修費について、補助金(4分の3、うち国2/4・県1/4)が出ることとなりました。

真和館は感染症に対して、平成24年度に入所者8名・職員2名、平成27年度に入所者4名・職員2名がインフルエンザに罹患しています。前者は職員、後者は入所者が研修会参加時に感染したものです。個室が28室、2人部屋が18室という構成のため、罹患者数を押さえることができた経験があります。

コロナが施設に入ったとしても、個室化ができれば、インフルエンザの経験からすると、クラスターの発生を遅らせることができるかもしれません。クラスター対策として、実に、有難い補助金だと思い早速、手を上げることに致しました。

工事は11月9日から始まりましたが、入所者のみなさんも工事に伴う部屋移動にも協力的で、12月末には、13室の個室化工事が完了し、1月下旬には17室全ての工事が終了します。

これで、個室を強く希望されていた、入所者のみなさん全てが個室に入ることができ、感染症対策は勿論のこと、入所者間のトラブルも減り、部屋割りに苦勞をしていた職員さんの肩の荷が、少しは軽くなるのではと期待をしています。

※真和館の定員は50名、12月現在の在籍者数は55名、部屋数64室(1人部屋62室・2人部屋1室)となります。余裕のある部屋は、感染症対策や一時入所、緊急一時救護(無料低額宿泊)事業や内観療法室などに使用しています。



アルコール依存症学習会

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染防止のため地域のミーティングに通う事ができなくなりました。状況がどうあれアルコール依存症から回復するためには、自助グループへの参加は欠かすことが出来ません。

検討を重ねた結果、日本を含め世界中の自助グループが感染防止のためにオンラインを活用したミーティングを開催していることを知り、この困難な時期を乗り越えるため、真和館では「オンラインミーティング」に参加することを決めました。月に一度、インターネット(zoom)を活用したAAのオンラインミーティングに参加し、アメリカを始めとする海外のアルコール依存症者本人の話を伺う機会を得ています。また、鹿児島県 医療法人 寛容会 森口病院で開催されている、初心者向けのオンラインミーティングにも参加することになりました。今後、熊本県内の自助グループやアルコール治療専門病院主催のオンラインミーティングにも積極的に参加して行こうと思っています。

真和館内のアルコール依存症学習会や薬物依存症学習会、回復されている依存症者を招いて開催していた「メッセージミーティング(アルコール依存症・ギャンブル依存症)」は中止しておりますが、それ以外の学習会は平常通り開催しています。また、アルコール以外の問題を抱えた入所者に向けた個別学習も実施しています。さらに、真和館主催のオンラインを活用した学習会を検討しています。

入所者の皆さんはコロナ禍の中にも社会復帰を目指して毎日頑張っておられます。

オンラインミーティング

- AAインターナショナル日本語
ステップ・トラディションスタディ
(午前9:30~11:00 男女とも参加/月1回)
- 森口病院内 ビギナーズミーティング
(午後2:00~3:30 数名のみ参加/月1回)

しらゆりの会

※女性のみでのミーティングで、司会は入所者

<テーマ>飲んでいない今、
飲んでいた頃とどう違う？

やっぱり、真和館に来て生活が変わりました。月曜日から金曜日まで学習会とミーティングがあって、3度の食事は出てきます。飲んでいた頃は一日一食だけ食べていました。勉強をするためになります。アルコール治療の専門病院に入院して、真和館に面接に来て入所しました。自分では、ここに来て良かったです。

(Yさん)

※AA・・・アルコールリクス・アノニマスという自助グループ



～アンケート続き～

- ・真和館に入所して、約半年が過ぎました。最初の頃は、まだどんな所なのかも分からず「自分はこの先どうなるのか?」と思い、強い不安はありました。最近になり、真和館の人間関係等理解し始め幾分か不安はやわらぎ、日々を何とか送れる様になって来た様な気がします。多少の騒音は仕方の無い事として割り切れる様な生活を送っているつもりです。真和館に対しての希望ですが、何かイベント事に若干の弱さが見受けられると思います。職員さん同志での横の共通した情報の共有を徹底して頂きたく思います。新型コロナ禍の中にあり、世の中大変な時にありますが、職員様そして入所者の一人として共に乗り切りたいと思う所存であります。最後に脱字乱筆どうかおゆるし下さい。
- ・ミーティングも毎回参加してるけど1つぐらい減らしてほしいです。しかし、少し不安もあります。
- ・ルールや決まりごとが多いと思います。多少のルールや決まりごとは仕方ないと思いますが、あんまり厳しすぎると生活しづらいと思います。あと、言いたいことはたくさんありますがあえて言いません。どうにもならないからです。私はこの施設に来たことを後悔してます。
- ・時間においやられている感じがしてなりません、気のせいでしょうか。



③『地域生活の希望』(5件)

- ・この真和館に入所してすでに5年目を迎えようとしています。この間、施設長はじめ職員の方々には大変御迷惑をかけてしまいました私にも色々苦しんできました。もうこの辺で私も歳ですので早く真和館を出て外の生活もしてみたいと心底感じています。このままで死んでしまいたくはありません。息子達もこの真和館を出て新しい所で今以上に以前のような笑顔を見たがっています。私の中には、どうしてもこの真和館にこのまま居てもその笑顔が出せないのです。だから早く毎日毎日出る事ばかり考えてます。頭の中はその事でいっぱいアルコールの勉強は二の次、三の次です。これじゃ面白くなくて、かえってストレスの塊です。今の真和館は生活がみだれ全く居づらい所です。今すぐにも自分で知人に頼んでここから出たいとつくづく思います。福岡だけにこだわらず熊本他の所でもいいので早く出して下さい。お願いします。
- ・今の真和館の生活はしにくいです。早く自立し社会に出たい気持ちでいっぱいです。今年中には、出たいと思ってます。手術後すぐにも退所させていただきます。施設長が、今退所したらのたれ死にまですとか言われましたが私の人生です。施設の人が人の人生を変える事ではないと思います。あと、何年生きるかわからないですが正直、今しかできない事!!すべき事を私、無駄にたくありませんし、邪魔もしてほしくないです。私だけが思っている事じゃなく、ほとんどの人が思っていると思います。私は、誰から何と言われても絶対に退所させてもらいます。それと、携帯電話は持たせたほうがいいと思います。いきなり、社会に出て扱い方がわからないと正直恥だと思えます。
- ・もう私が真和館に入所して6年ほどたちます。私の体も歩けるようになって調子が良くなってきたと思います。最後に真和館を出て好きな女性と暮らしたい。死ぬまで一緒。ただそれだけです。
- ・今まで同じだと思えます。真和館も大変だよなあ。でも、まあ大丈夫だと思います。希望は早く出たいなあと思っています。
- ・きついです(勉強会で)。希望は、早く地域に出して下さい。

④その他(5件)

- ・今は新型コロナで凄く大変な時で熊本県も719人になりました。コロナのおかげで楽しみにしていた買物も出来なくてすごく残念です。来年は、買物は行けると思うのでそれまで楽しみにしております。
- ・どの番組見てもコロナだらけ。コロナになっていないけど、早くなおしてほしい。
- ・コロナの影響で外出や買物等ができないストレスが溜まっています。
- ・2日~3日に1回洗たくなど片づけしたりしてます。
- ・良かったり悪かったりします。

アンケートのご協力

ありがとう
ございました





令和2年 入所者 アンケート



毎年、10月に入所者の皆様へアンケートを実施しております。今年も多数の貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

12月28日の年納め式で、施設長から回答したとおり、職員一同、皆様の思いをできる限り形にしていけるように、日々努力して参りたいと思います。



①『良いところ』(30件)

- ・9月29日に真和館さんに入所させていただきましてありがとうございます。少しはここでの生活にも慣れてきました。まだまだわからない所が色々あると思いますが、職員さんたちに聞きながら1日1日を生活していきたいと思えます。今の所真和館さんでの生活に満足しています。希望は別にございません。
- ・日常生活は、3食食べられているのでいいと思えます。
- ・真和館はとても暮らし良い環境で、職員さんも大変好い方ばかりです。個人的な用件も良く対応していただき、大変有難いです。真和館には入所者50数名、職員さんも20名程おられ集団家屋なので多少のリスクや見解の相違は有っても当然と思えます。時折大変賑やかな時や静かな日中等も良いですね。
- ・衛生面がとても良いです。オンラインAAなど新鮮です。本が充実していますね。
- ・良いばかり、何も無い。アパート生活もさせてもらい俺は恵まれている。
- ・今、真和館にきてよかったことは、病気が見つかり治療できることがよかったです。
- ・私は自分がまとも職員さんの話を聞かないので私自身の性格をなおしたいと思っています。真和館の生活は大変よろしいと思えます。私は先日、〇〇病院の〇〇先生とお話しをしたのです。真和館を出て他の施設に行きたいと〇〇先生と話をしたのです。そしたら〇〇先生から言われました。「何処へ行っても真和館の様な良い施設はないのでそんな事を考えるな」と。私は今思ってます。真和館にお世話になって14年です。〇〇先生の言われたとおりです。私はまだまだ真和館にお世話にならなくては行けない私です。真和館の様に良い施設はないと思えます。これからもよろしくお願い致します。
- ・気持的に安定して満足しています。私は囲碁をするのですが相手を探しています。もし御存知でしたら紹介下さい。力的には、2段位の力です。できましたら宜しくお願いします。
- ・栄養士さんがそのまま居られたら楽しいと思えます、以上。
- ・食事も大変御苦労されて作っていられるので美味しいです。調理の方へ提言です。一汁三菜と良くいわれませんが、一汁二菜でも良いのではないのでしょうか。一品多い様に私は思いますが、カロリーにとられなくても、献立表の下から2番目のお菜の品は多いと思えます。盛り付けが多いのではなく、品数です。
- ・料理がうまい。
- ・有意義な生活と思えます。
- ・満足しています。(10件あり)
- ・普通に過ごしています(2件あり)
- ・特になし(6件あり)



②『改善してほしいこと』(9件)

- ・現在、行われている朝の歯の点検は、必要な方のみ実施してもらいたいです。不快感があります。その他はありません。
- ・職員さんのえこひいきがあるのはなおして、皆、平等にしてほしいと思えます。
- ・嫌です。シーツ交換手伝ってくれ。
- ・入館当初は、食事がおいしく感じたんですが、近ごろあまりおいしく思いません。朝・昼・夜とワンパターンに思えます。ぜいたくは言えませんが。
- ・給食のお願いがあります。メニューをもう少し替えて下さい。お願いします。1日のメニューを替えて下さい。2年前とメニューがかわりません。もう飽きました。

DVD鑑賞学習会

<感想>1度なったら、この病気は一生続くので誘惑もいろいろあるけど、自分なりに避けるのではなく、向き合って明日に繋げて行く道を見つけたと思います。

(Oさん)

真和館アルコールミーティング

書籍の輪読後、テーマを出しそのテーマに沿った、「言い放し、聞き放し」のミーティングです。

<テーマ>飲酒をしていた頃の自分に言いたい言葉

よう飲んどったな、お前。飲まんで仕事とか家族とか大事にしていれば、こんな人生にならないのに。これ以上、飲んだら駄目だよ。

(Sさん)

アルコール特別ミーティング

AAのミーティングハンドブックを用いて、入所者が司会進行をされる、その後、テーマを出し、そのテーマに沿った話をする「言い放し、聞き放し」のミーティングです。ミーティングをどのように進めて行けば良いのか？ミーティングの進め方を実践し学ぶ場でもあります。

※退所した時、地域でミーティングを主催できるように実施しています。

ぐりーんぴーS

沖縄県の糸満清明病院の『アルコール依存症 再発防止プログラム』や、神奈川県立精神医療センターの『SMARPP』を用いた学習です。

<ある日のテキスト学習の課題>質問・断酒していたあなたが、飲酒する時の言い訳

体のどこも悪くないし、断酒生活もスムーズにできているし、仮に今飲んでも深酒をするわけでもないし。量をコントロールできる。

(Kさん)

断酒の誓い

毎朝、9時00分から断酒会の断酒の誓いを皆で唱和します。

タベの集い

毎夕、17時10分からAAの12のステップと平安の祈りを皆で唱和します。



QC活動

社会福祉法人致知会の第14期QCサークル活動が令和2年6月にキックオフされました。今年度は、真和館が7サークル、姉妹施設のあそ上寿園が2サークルの計9サークルに分かれ、活動を行っています。

活動テーマ：「新型コロナウイルス感染予防対策」

2019年末から中国/武漢で始まったとされる新型コロナウイルスの感染拡大は、短期間のうちにWorld wideで拡散し、令和2年12月18日現在、全世界での感染者数が7500万人に迫る勢いです。真和館が所在地の熊本県下でも令和2年2月22日に初の感染者発生が報道され、真和館では、即日水際対策を中心とした新型コロナウイルス対策を実施しました。あれから約10ヶ月がたち、現在のところ真和館で感染者は発生していませんが、熊本県でも感染者数が増加しており、感染リスクの危険性が直ぐ傍まで来ているのがひしひしと感じられます。

かかる状況下、新型コロナウイルス感染予防対策をQC活動として取り上げ、各種対策を実施中ですが、如何せん感染症の専門家ではありませんので、ネット等での各種情報をもとに進めている次第です。しかしながら最善の対策は水際対策であり、職員が施設に新型コロナウイルスをもちこまないということが最重要課題であることは間違いありません。引き続き、職員の危機意識を高めつつ、施設一丸となって、この危機を乗り越えていかねばと考えています。

活動テーマ：「SEITONの術・改」

活動目的は、主に、施設内の倉庫に目を向けた、5S活動に取り組んでいます。活動するにあたって、整理整頓を見直し、躰まで習慣化する事を目標に決めました。私たちの班では、①倉庫の清掃を行いながら、もう一度物の配置を見直す、②毎月月末に一度、掃除をするように各倉庫に担当の職員を配置し、最後に上司に見回りをしてもらうということを考えています。最終的には、倉庫の美を保てるよう、躰まで行き、新入職員でも直ぐに倉庫内を把握できるくらいに整理して行く予定です。

活動テーマ：「真和館ARP」

真和館ではアルコール依存症等の学習会のカリキュラムが10年かけて整備されました。これまでの経験を活かし、真和館オリジナルの「テキスト」の作成と、アルコール依存症からの回復が客観的に分かるように「アルコール依存症評価尺度表」を作成しています。テキスト作成では、姉妹施設のあそ上寿園で開催されている、地域の皆様に向けたアルコール依存症学習会を職員が持ち回りで講師を担当し、講義資料を編纂する予定です。評価尺度表は、飲酒問題に向き合う姿勢や常識力など8項目を5段階で評価し、ご本人にも分かりやすいようにチャートを作成します。この活動は、3～5年の中長期に及ぶ活動となりますが、試行錯誤しながら作り上げていきたいと考えています。

活動テーマ：「歯みがきチェックへの挑戦」

歯科通院時に歯科医や歯科衛生士より、歯の汚れ及び口臭についての改善の指摘が続いていました。これは長年の課題でもありましたので、QC活動で改善に取り組むことにしました。具体的には、毎朝の「衛生の時間（AM8：40～8：50）」を活用して、職員が4つのユニットに分かれて、実際にチェック歯ブラシを使用して全入所者に「歯みがきチェック」を行い、口腔内の状態向上と口臭軽減をめざします。先ず、10月、11月、12月の3ヶ月間実施してデータ化し、3ヶ月間のデータをまとめ、歯の状態の悪い方、障害の関係で歯磨きが出来ない方等をピックアップします。そして、課題達成型から問題解決型に変更して活動を続けていく予定です。

活動テーマ：「業務改善」

現在は、コロナ禍で職員研修や地域で開催される自助グループ又は、学習会等の外部行事がなく、内部業務に注力できるところです。しかし、やるべきことができていない、個人業務の時間が取れないなどの問題があり、コロナが落ち着いた後、外部行事が再開したのちに、内部の事が残業等をしなくてもできるのか心配されます。そこで、コロナが収束した後、外部行事を行うようになって内部業務に負荷がかからないように、今の内にルーティンワークを更に効率的に実施できるようにする「内部固め」を行う事にしました。日常業務のムリ・ムダ・ムラをなくし、業務の効率化と職員の働きやすさの両立を目標として頑張ります。

活動テーマ：「危険予防」

活動目的は、少しでも事故を減らして安心して暮らせる施設づくりを目標にしています。当初から予想された通り、事故の原因として「転倒事故」が一番のウエイトを占めていました。現状把握の時点でも統計を取りましたが、事故の約5割を占めていることが分かりました。どこの施設でも、対策を行っていると思いますが、転倒を防止することに結びつかないのが現状と思われます。私たちの班では、①下肢筋力の強化、②床に障害物を置かない、③床が濡れていたら直ぐに拭く、④水で床が濡れない環境づくりといった所に焦点を当てて具体的な対策を行っている最中です。良い結果を出して、どの施設でも活用できるようなマニュアル作成ができれば幸いと考えています。

活動テーマ：「定置管理を定着させよう」

日々の調理業務の中で、調理器具や食材の配置場所が定まらず、作業効率の悪さが目立っていました。定置管理が定着しないのは、①一人の人がやり易いように保管していた。②次の作業効率アップのため、調理器具や食材配置の明確な固定が出来ない。この2点に着目し、食品庫、冷蔵庫、冷凍庫、調理器具の配置の見直しを行っています。また、誰が見てもすぐ分かるように、それぞれの保管場所を明確にし、共通認識のもと、作業の効率アップと無駄な時間の削減で、よりクオリティの高い給食提供に繋げて行きたいと思っています。

活動テーマ：「常識力」（あそ上寿園）

★こんな経験ありませんか？

その① 歯磨きをした後に、歯磨きチェック赤（歯垢染出錠剤）で確認してみるときれいに磨いたはずなのに、染出赤が歯についている・**磨き残しがあるという事実**

その② 手洗いをした後に、手洗いチェッカーライトで確認してみるときれいに洗ったはずなのに、あちこち洗い残しがある・**洗い残しがあるという事実**

★【自分ではきちんとやっているつもり】と【実際、きちんとできている】とは【必ずしも一致していないかもしれない】⇒これを日々の業務に置き替えると問題が発生します。

★例えば、食堂の掃除：手順通り掃除を実施、まず、職員Aが掃除機をかける。次に、職員Bがボトル入り中性洗剤をスプレーして棒雑巾で拭き上げていく。Aの掃除機が丁寧にかかっているとBの拭き掃除がスムーズに行く。Aの掃除機かけがきちんとできていないとBの拭き掃除がはかどらず不満の蓄積、ストレスになる。

★自分の常識の範囲ではきちんとやっている。しかし実際にはできていないかも知れない。

★自分の常識と社会の常識は、一致していないかもしれない。

☹毎週水曜日は、8時40分頃～15時頃まで、シーツ交換と、全館掃除の日としています。この日は夜勤明け、と夜勤入り、の職員以外は出勤日と設定し、出来るだけ全員顔を合わせ、一緒に業務にあたります。シーツ交換や掃除の手順は決まっています。しかし、細かいところに差が出ます。自分の常識の範囲内で手順をこなしていると考えられます。それは、サービスの質の低下につながり、職員間の不和、不調につながってしまいます。できるだけ同じレベルで業務にあたる必要があると考え、テーマ：常識力として、QC活動に取り組んでいます。只今、水曜日業務の常識力上昇中です。

活動テーマ：「業務の平準化」（あそ上寿園）

あそ上寿園では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、14名の入所者様が各デイサービスへの利用を控え、園内でレクリエーション活動、入浴を行う事になりました。人数が増えた事で、レクリエーション活動、入浴共に午前、午後と2回実施する事になりました。質を落とさず、更に高く安定したサービスを提供する為には、職員のスキルアップ「業務遂行能力の平準化」が必要不可欠であると考え、今回のテーマに取り組む事にしました。サブテーマである「～入所者が安全で安心して楽しく暮らせる施設を目指して～」を実現する為には、職員が最低限出来なければならない業務内容を挙げ、その項目について各職員の業務遂行能力をグラフ化しました。それにより、自分に足りない（出来ていない）能力が浮き彫りとなり、学ぶべきは何かという項目が明確になりました。入所者様に満足して頂ける様に、職員のスキルアップを図り、活動を進めて参ります。